

日向工業高等学校 バドミントン部

中学生のみなさん、オープンスクールが延期となり心配な日々をお過ごしと思います。

日向工業バドミントン部は、「応援される部活」を目指しながら、インターハイ・九州大会を目標に日々練習に取り組んでいます。日々の充実した練習の成果を発揮し、この夏に開催された高校総体では団体3位、個人ベスト8という成績を残すことができました。また、部員はとても仲がよく、練習はいつも一生懸命で、熱いメンバーが勢揃いです。九州保健大学の方や日向の接骨院など様々な方の協力を得ながら本気で練習に取り組んでいます。稲穂主将（富島中）を始め、日向中、門川中、延岡中、都農中、岡富中、土々呂中、東海中、本郷中の先輩がみなさんの入学、入部を心待ちにしています。ぜひ一緒にバドミントンをやりましょう！ 今年度の成績は以下の通りです。

県高校総体団体3位、男子ダブルスベスト8、男子シングルスベスト16

女子ダブルスベスト8、女子シングルスベスト16

顧問 長友克樹 前田寿

オープンスクールやいろいろな行事が延期となり大変な日々をお過ごしと思います。バドミントン部主将の稲穂直です。延期になった体験入学の前にバドミントン部を紹介します。

バドミントン部はインターハイ・九州大会を目標に日々応援される部活を目指しています。部員2年生6名、1年生11名で長友先生の熱いご指導のもと日々の練習に励んでいます。練習ではフットワークやノックを中心に基礎的な練習を行っているので男女問わず初心者でも大歓迎です。学年問わず部員みんな仲がよいので互いに高めあいながら練習しています。バドミントンに興味がある人、入部待っています。みんなと一緒にバドミントンができるのを楽しみにしています。

主将 稲穂直



